



森のなかま

2013年6月号

NO.62 (継続207号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102



“ 安全に関して思う事・・会の取り組みから ”

安全第一 / Safety First

< 安全管理委員会 委員長 滝澤洋子 5期 >

昨年、岐阜県で森林体験学習に親子で参加していた女の子の頭に太い枝が落ちて、女の子は数日後に亡くなったという痛ましい事故が起きました。森林整備体験のお手伝いをしている私たち森林インストラクターにとっては、他人事ではない思いです。

さて、皆さんは森林整備のボランティアに参加されてこんな経験はありませんか？

- ①間伐をしていた時、隣の班の木が急に近くに倒れてきた。
- ②間伐した木の枝払いをしていた時、隣の班が合図をしたので退避した。倒れて来た木の動きが止まったので、戻って作業の続きをしていたら、その木が近くに倒れて来た。
- ③間伐で追い口を入れていたら、急に木が予定と違う方向に動き出してびっくりした。
- ④間伐で追い口を入れたが木が倒れず、ロープも無かったので3人で木を押したら、木が動いたはずみで前のめりに転倒した。

どれもちょっと間違うと大事故になりかねませんね。無事で良かったです。



どんな状況が危険をはらんでいるか。それに気が付けば、危険をかなり回避できます。沢山の経験があっても、それが危険だったと気づき今後は注意しようとする感性が無いとそれまでです。これをしたらこんな危険が考えられると、意識的に想像することも大事です。私たちの会でも、報告された危なかったと思った(ヒヤリ・ハット)情報を共有できるように、安全管理委員会が中心になり進めています。

活動の際には、安全目標を活動毎にインストラクター内で決めて、参加者に伝えるようにしています。皆さんが参加された時に、インストラクターから声を出して安全確認をするよう求められたら、恥ずかしがらずに一緒に声を出して下さい。手で指して声に出す「指差し呼称」は、体を動かすことと耳から入る自分の声で、より効果的に安全意識が高まります。

安全に活動するためには、注意する呼びかけだけでなく、考えられる危険に対して対策をとる必要があります。

会でも NPO 法人になる前から森林部会の研修でリスクアセスメントも取り入れていましたが、昨年はより自分たちの活動に基づいた形で実践しました。会員が熱心に意見を出し合った有意義な研修となりました事は、この会報でも報告されております。



今年度は森林整備作業だけでなく他の活動にも広げるよう、さまざまな活動が始まる前の4月14日に、各活動に実際によく参加している会員に集まってもらい研修を行いました。小学校の森林整備体験活動(間伐)、普及啓発部会が中心となる街頭キャンペーンのインストラクターブースにおける活動、森林癒し部会の癒し体験活動、企業とタイアップした森林活動。また、子供たちのハイキングと川遊びのイベントを想定し、これには、自然観察部会で行っている森林探訪で得たノウハウも取り入れられるよう、自然観察部会長にも参加をお願いしました。今回の研修会で活動毎に話し合われたことを、今後の活動に取り入れ、また引き続きリスクアセスメントを繰り返し実践してもらうよう、安全管理委員会でバックアップしていく予定です。



24年度の研修
＜危険要因の洗い出し！発表の様子＞



本年度活動前の研修 (4/14)
＜セクション毎のリスクアセスメント＞



ところで、先にあげた事例ではどんなことに注意すれば回避できたでしょう。

①と②は隣の班との声の掛け合いが必要です。現在会が係わっているボランティアの活動では、狭い場所に沢山の人が入って行くことが多いので、このような状況が生まれてしまいます。どうしてもその状況が避けられないのなら、自分や自分の班だけでなく、周りの状況も確認し、お互いに声を掛け合う事が大事です。

③はどうも作業の方法に問題がありそうです。木の重心を考慮しなかった、「つる」を切ってしまった、などが考えられます。

④は、私たちの活動では小さい木が多いので、つい力任せに手で押す場面が多いようです。この場合も細めの木が密集した林内での作業でした。木がどの状況で動き出すか、動き出したら自分はどうなるか、予測する必要があります。

このような事例の時はどうしたらよいか、皆さんも考えて見て下さい。

かながわ森林インストラクターの会の会員がかかわる様々な活動が安全に行われ、参加された方々に安心して楽しい時間を過ごして頂けるよう、これからも安全管理委員会が中心になって会員の安全意識を高めていきます。

安全に楽しく活動するためには、まずは自身の体調が整っている事が条件です。このことを念頭に置いて森林整備作業や各種イベントに参加されますよう、最後をお願いいたします。

平成25年度の全国安全週間は、7月1日～7月7日です。

なお、6月1日～6月30日は準備期間です。

本年度のスローガンは

「高めよう一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」

私の認識

野鳥その110

高橋 恒通

今月は我国で観察できるガンカモ目ガンカモ科の淡水ガモで唯一の旅鳥のシマアジ(漢和名:縞味又は島鴨、英名:Garganey、体長L=38 cm)をご案内いたしましょう。

“旅鳥”の定義は、渡りの途中で日本に立ち寄る鳥を言います。一般には日本より北の繁殖地と日本より南の越冬地を往復する鳥を指します。従ってシマアジは旅鳥に類別されている野鳥ですが、我国で北海道東部と愛知県での繁殖記録のある珍しい野鳥です。そして又、この野鳥の“シマアジ”とは実に場違いで珍妙な命名だと思いませんか…

ビギナーバーダーでなくても突然、「シマアジ知っている？」と尋ねられると鳥よりも魚をイメージするのが人情の自然だろうと私は認識しております。少し脱線を許して下さい。何故なら“シマアジ”と言う名の超高級魚の存在の方が一般化しているからです。漢和名の「縞鯰」は幼魚の時に横縞が目立つので名付けられたと言われています。この魚はタイやヒラメより美味で高級な為、近年は養殖も行われているそうです。「アジ科の魚は味が良い」と言われていますが、洒落でなく確かにアジ科にはマアジ、ブリ、カンパチ、ヒラマサ、ツムブリ、カッポレ、ギンガメアジ、カイワリ、ロウニンアジ、ムロアジなどいずれも美味しい魚が多く居ます。

話を鳥に戻しましょう。これを“取(鳥)戻す”と言います!?

シマアジ成鳥♂の体色は、黒色の嘴、額から頭頂、後頭にかけて黒褐色、目の少し前部から太く純白の眉班が後頸へ伸びています。



この眉班の形が米国のスポーツ用品具ナイキ社の商標マークによく似ています。

これがシマアジ同定の最大ポイントだと私は認識しています。それ以外は頬から胸前にかけて紫褐色

の小紋模様、脇腹には濁白地に黒色の波状紋があります。これに対し成鳥♀は、黒色の嘴、黒色の短い過眼線を挟んで2本の濁白色の眉斑状のものがあり、嘴の付根に丸く見える白斑がある以外は全体が地味な黒褐色です。

棲息環境は池、湖沼、河川、水田、干潟などですが、旅鳥ですので我国には春が4月～5月、秋は8月～10月頃に立寄るだけです。

それも多くの場合は、寸法的に近いコガモに少数が混じっているそうです。かく申す私自身は剥製しか見ていません。

春の渡りの時は繁殖羽なのでナイキの商標は見つけ易いのですが、秋の渡りの折には羽模様は“エクリプス”と称される♀に似た地味な姿で立寄ります。従って秋の渡りのシマアジは観察されにくいとされています。

エクリプスとはカモ類などの種の♂に見られる羽模様(羽衣)で、秋に日本に渡来する頃は♀に似た地味な羽の色になる事です。

エクリプス(Eclipse)の英語の意味は、除外する、捨てる、現われなくなるで、ギリシャ語が語源ですから、日食や月食の食をも意味しています。即ち、遮断されて見えなくなるの意でもあります。

因みにシマアジの英名^{ガ-ガニ-}Garganeyの意味を私の使っている「新簡約英和辞典」(主幹 岩崎民平、研究社)には載っていませんでした。

どなたか意味をご存知の方がいらっしゃいましたら教えて下さい。

(参考資料)

- ◎日本の野鳥, 山溪ハンディ図鑑 7, 写真・解説/叶内拓哉, 分布図・解説協力/安部直哉, 解説(鳴声)/上田秀雄, 山と溪谷社
- ◎とり, (自然ガイド), 浜口哲一・文, 佐野裕彦・絵, 文一総合出版
- ◎魚, 野外ハンドブック9, 益田一著, 山と溪谷社
- ◎ フィールドガイド日本の野鳥, 野鳥ブックス②, 高野伸二著, (財)日本野鳥の会
- ◎ 日本の野鳥, 山溪カラー名鑑, 編 高野伸二, 解説 浜口哲一, 森岡照明, 叶内拓哉, 蒲谷鶴彦, 山と溪谷社
- ◎ (イラスト) 広報 大塚 晴子

自然観察部会

25年度 『第1回 探鳥会』

横浜自然観察の森

5月6日(月)、(尚、5月11日は雨天の為中止)



コゲラ



何の巣

講師 高橋 恒通 氏 3期、武本 弘次 氏 7期

< 赤崎 さほり 12期 >

5月6日は朝から素晴らしい晴天に恵まれ、青空には新緑が映え、そよぐ風は気持ちがよく、まさに風薫る、の比喩の通りで

した。開催地の「横浜自然観察の森」は横浜市の南端と鎌倉市との境にあります。広場や雑木林、丘陵地や水辺もあり、散策しながら自然観察ができます。

さて、当日は計18名の方が参加され、賑やかに探鳥会が行われました。講師は高橋さん、武本さんのお二方で、丁寧な解説に大変感謝しております。始めに双眼鏡の使い方の説明がありましたので、初心者でも安心して参加できました。また、「こういう天気の良い日には実はあまり野鳥には会えないものです」とお話しされていましたが、園内をゆっくり散策しながら、コゲラ、シジュウカラ、コジュケイ、ヒヨドリなど里山～低山で出会える野鳥が観察でき、鳴声の特徴もよく理解できました。

参加者の皆様は植物や昆虫等の観察も同時に楽しんでおられました。昼食後の講話では、鳥の目の仕組みと働き、ホトギスの仲間などのお話をお二方から伺うことができました。第2回目の開催は残念ながら雨で中止となってしまいましたが自然観察部会では、今後も皆様に楽しみながら野鳥に親しんでいただけますよう、より良い探鳥会を開催してまいります。沢山の方のご参加をお待ちしております。



レクチャー

(写真 広報 松本)

参加メンバー：菊池①、鈴木③、相馬⑤、滝澤⑤、伊藤⑦、黒澤⑧、野田⑧、小林(保)⑨、村井⑨、青木⑩、角田⑩、小林(富)⑩、鳥飼⑩、松本⑩、湯浅⑩、永松⑫、石川⑫、渡辺(敏)⑫ 以上18名 (部会) 松永⑩、赤崎⑫



25年度 『スマレ観察会』

高尾山南尾根(南山稜) 4月20日(土)



全員で



ニオイタチボスマレ

< 大塚 晴子 11期 >

(写真提供 内野 ミドリ 9期)

高尾山にて、スマレを中心とした早春の植物観察会を行いました。天候はやや肌寒い曇りで、「高尾山口駅」に9時集合後、タクシーに分乗して大垂水峠(山道入口)へ向かい、自己紹介と観察会の概要を主催者の堀江さん・足立さんより説明がありました。その後、班ごとに分かれて観察しました。各班では、スペシャリティーインストラクター達にスマレを見分けるポイント「托葉のかたち・葉の毛有無」などを教わり、図鑑やルーペを使いながら観察しました。山頂までの上り道ではタチツボスマレが多く、ニオイスマレ、ニオイタチツボスマレ、マルバスマレ、オカスマレ、アカネスマレなど7種程のスマレが観察できました。花が観察できなかったスマレ(葉のみ)は、エイザンスミレ類、ナガバノスマレサイシン類? 高尾山は春先の天候が暖かかったためか、例年より開花が2週間程早く、スマレの見頃はやや過ぎており、種類の判らない花跡も多く見られました。スマレ以外に観察した植物はイカリソウ、ジュウニヒトエ、ニシキゴロモ、コバナツツナミソウ、ウワズミザクラなど、可愛い春の花々が観察でき、とても充実した観察会でした。

参加メンバー：L足立④、宮本④、堀江④、佐藤⑤、白畑⑦、武者⑦、斎藤⑧、松本⑧、小林(保)⑨、内野⑨、飯澤⑨、小沢⑨、杉崎⑩、橋本⑩、小林(富)⑩、尾崎(一)⑩、大塚⑩、赤崎⑫、永松⑫、以上19名

『平成25年度 第一回 やどりき周辺の山歩き』

～土佐原・宇津茂に枝垂れ桜を訪ねて～ 4月13日(土)

＜ やどりき事業部 部長 飯澤 恒 9期 ＞



道なき道をひたすら登る

今年度のやどりき周辺の山歩きのテーマは「花を訪ねて」です。今回は以前歩いて好評だった寄の土佐原と宇津茂の枝垂れ桜を訪ねる山歩きを、ルートを変えて実施しました。やどりき管理棟から栗の木洞へ直登するルートの登り口は二ヶ所あります。散策路 B コースのキリンビールパートナー林の尾根から登るルートと、神奈川トヨタ自動車パートナー林の尾根から登るルートで、何れから登っても途中の標高 800m付近で合流します。今回は参加

メンバーを考慮して取り付きの傾斜が比較的緩やかな後者のルートを選びました。それでも道なき道をジグザグにひたすら登るのをきつく感じた方はいたようです。ミツバツツジが美しく咲き、若葉が薄暗い人工林の間から明るく見えました。途中2回休憩して、栗の木洞山頂近くの稜線登山道に出ました。栗の木洞山頂で記念写真を撮り、ここは見晴らしが悪いので櫟山まで行き、山頂広場で房総、大島、伊豆半島は春霞で見えませんでした。遙かに見渡せる相模湾の江の島から真鶴にかけての展望を楽しみながら昼食にしました。好天に恵まれ余りに



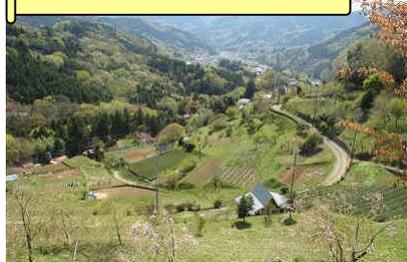
櫟山山頂での昼食

気持ちが良いので昼食後しばらくは各自で付近を歩き回り、植物の観察をしたり木に抱き付いたりして楽しみました。櫟山からは三廻部林道を横切り宇津茂に抜けました。途中では若葉が様々な色合いを見せておりとてもきれいで



美脚の主は100歳?

どこか懐かしい山里の風景



宇津茂の枝垂れ桜



心の枝垂れ桜の林は花の咲くのが例年より大層早く、殆どが咲き終わり僅かに3本が咲き残っているだけでしたが一応観賞は出来ました。推定樹齢300年と言う土佐原の枝垂れ桜は既に葉桜になっていました。地元の方の話では、今年は咲くのが非常に早く花の付きも余り良くなかったとのことでした。

宇津茂に出たからは一部で自然観察が始まり観察グループと先行グループの間が大分開いてしまいました。後のグループの歩みが遅々として進まないの、先に管理センターへ下山し寄大橋近くに駐車した車を回収し、戻って丁度降りてきた観察グループを収容して帰路につきました。

持ち帰ったワラビは早速茹でて一晩水に晒してポン酢で食べましたが、アクも無く柔らかで大変美味でした。

次回は、9月28日(土)に「雨山峠にイワシャジンとシラヒゲソウを訪ねて」です。関心のある方は今から予定をしておいてください。

参加者:L堀江精三郎④、SL飯澤恒⑨、高崎好計④、小林保喜⑨、小林富士男⑩、杉崎恒三⑩、大橋聡⑩、高田桃子⑫、門沢勇⑫

活動短信



今回の掲載 3/23~4/20
投稿頂いた中には、紙面の都合上、次号以降の掲載になるものもあります。予めご了承下さい。

◆ 日揮パートナー林活動 自然観察

日 3月23日(土) 12:30~15:00、曇り

場 やどりき水源林広場から秦野林道

参 日輝(株) 大人5名+子供1名 計6名

イ 水口⑨

参加されたメンバーは、午前中は森の案内人に案内され、H20、21年度の成長の森のミツマタ群落、そして林道コースのマメザクラ、いずれも満開のすばらしい観察ポイントを回られた後、水口が昼食時に合流し、案内役を引き継いだ。

午後は水源林のゲートを出て秦野林道を案内した。スタート前に滝郷の滝を拝み、また、ミツマタの花を解剖してルーペで雄しべの数と位置を観察した。林道では運良くクロモジ、アブラチャンのかわいい花をみることができ、いいシャッターチャンスとなった。メンバーの中には3月2日にも冬芽観察で来られたとのことで、その時沢山みられたアマアカガエルの卵塊がやっと道の中央の水たまりで見ることができ、初めて見たメンバーは卵塊の大きさにびっくりされていた。キブシの雄花、雌花の違い、シバヤナギの花序などをルーペで観察し、今回は林道を往復2時間かけて歩き、ミクロの世界のすばらしさも堪能していただいた。

(記 水口俊則 9期)

◆ ライオン小田原の森 維持管理作業

日 3月30日(土) 9:00~12:00、曇り

場 小田原市久野地内、ライオン小田原の森

参 ライオン(株)小田原工場
社員とその家族 約60名

イ L山崎⑦、阿部⑧

小田原市、二ヶ市町組合、ライオン(株)が3者協定を結び、その第一回目の活動。ライオン小田原工場の従業員家族約60名(内、子どもが約15名)が二班に分かれ、交互に「いこいの森」でキーホルダーやコースターなどの木工体験と、久野地内の「ライオン小田原の森」で間伐体験を行うもの。

我々は後者の間伐体験を、インストラクター2名と

二ヶ市町組合の方1名とで対応する。

あらかじめ、二ヶ市町組合の方が選定し、ロープを巻いておいた10年生ほどのヒノキの小径木を伐採。初めての方が多く、鋸も慣れない手つきの方もいたが、「疲れるけど、結構楽しい」と各40分ほどで計20本ほどの間伐から枝払い、玉切りの一連の作業を行う。小さな子どもも親御さんと一緒に、枝払いやコースター切りを行っていた。

交替の移動に時間がかかり、作業時間は短かったが、曇天の花冷えを吹き飛ばす熱気と、間伐して多少明るくなった森に皆さん満足気だった。

(記 8期 阿部 純一)

◆ 日揮パートナー林活動 新入社員の間伐体験

日 4月11日(木) 10:00~12:30、曇り一時雨

場 やどりき水源林

参 日輝(株) 新入社員78名他

担当 坂井様、安全管理 西山様、(佐藤様①)

県 後藤様、増田様

イ L大澤⑩、佐藤⑤、加藤⑥、斎藤⑥、小野⑦、黒澤⑧、阿部⑧、小沢⑨、松山⑩、松本⑪、福島⑪、加藤⑫、西出⑫

インストラクターが道具準備を済ませ、ゲート前で日揮新入社員をお迎え、会社支給の白色のヘルメットを各自で付け、朝のセレモニーをスタート。

インストラクターリーダーが間伐方法及び安全の諸注意等を説明し、途中の日揮様パートナー林の案内板の前で記念写真をパチリ。13班編成各班6名で後沢出合い左手尾根へ班毎に入山した。新入社員らしく皆さん元気ハツラツ、女性や外国籍の人も交え下見で選木された各々のエリアに分かれ作業にかかった。

途中で小雨が降り出し作業に支障が出るかと心配したが、予定時刻になり全員下山、各班怪我もなく無事終了、伐倒整理の未処理が3班あり日揮様をお送りした後、インストラクターで後処理をした。

(記 小沢章男 9期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」

ホームページは下記URLで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

かけがえのない神奈川の心を
守るために

◆ キリンビール横浜工場 間伐体験

- 日 4月13日(土) 10:00~12:30、晴れ
 場 やどりき水源林 キリンビール・パートナー林
 参 キリンビール横浜工場 社員76名
 県 斎藤課長、十鳥様、後藤様
 イ Aチーム L竹島③、有坂⑧、小沢⑨、大澤⑩
 上宮田⑪、西出⑫、加藤⑫
 Bチーム L佐藤⑤、宮本④、永野⑥、伊藤⑦、
 阿部⑧、酒井⑩、波多野⑪

120名の予定が当日は76名の参加となった。Aチーム、Bチームに分かれ各チーム6班編成に、Aチームはやどりき散策Bコースよりキリンビールのパートナー林に入りかなり上部まで登って行った所が間伐作業場所となる、またBチームの作業場所は旧JAの森、間伐には少しきびしい馬の背の様な間伐場所であった。

多勢の人数での作業は安全上から、また選木においても無理が有り実施場所を2箇所とした。

その中でも女性グループが結成され、山の中にチョットした華やかなムードが醸し出されていたが、そこは厳しい間伐作業、指導するインストラクターも女性、伐倒する木への思いやりや切り終えた感動を体験し時間内に間伐作業を終了。

班の中には倒木した木から各自コースターを作り山のお土産としてお持ち帰り頂いた。

山を下りる時も最後まで気を抜く事が無いように注意を喚起し、やどりきの山を案内しながら今日のスタート地点へ。晴天に恵まれ山ビルに付かれた話も無く、全班順調に作業が終了。道具の手入れを済ませ、再度やどりきの山を散策に訪れてほしい事を願い本日の間伐体験は無事終了。

(記 小沢章男 9期)

◆ タカナシ乳業(株) 森林整備と癒し体験

- 日 4月20日(土)8:30~12:30、曇り
 場 やどりき水源林
 参 タカナシ乳業(株)25人(大人18名、子供7名)
 イ L宮下⑩、高崎④、草野⑧、高橋⑨、
 藤田⑫、安井⑫

冬を思わせる寒さと雨を心配する空模様であったが、新緑の素晴らしい活動日となった。参加者は新松田からバスでやどりき水源林へ。バスの中では水

源林の話や活動について説明した。予定の時間に全員が水源林に到着。オリエンテーション後、模型の緑のダムによる水源涵養機能の説明。木々が無い時の表面を流れる水や木々が有る場合の水の浸透に子供たちも興味津々であった。

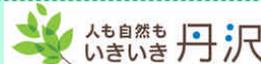
フサザクラの新緑が奇麗なタカナシの癒しの森を観察後、間伐、ベンチづくり、森林癒し体験の各グループに分かれ活動開始。間伐は1本であったが貴重な体験に満足の様子。倒れた木を使ったベンチづくり。一基ではあったがなかなかの出来ばえであった。子供たちも汗を流しての奮闘ぶりとなった。癒し体験グループは、ハンモックでの森林安息、針葉樹林でのフイテンチッドや樹幹の揺らぎの体験、川の流れや緑のグラデーションを座観した。ハンモックの体験は全員から好評価を得た。杉の丸太切りに全員が挑戦。刻印入りのコースターは記念のお土産となった。

解散後、参加者は一路足柄乳業へ。インストラクターも足柄乳業での工場見学や牛乳パックを利用した紙すきとはがき作りに参加でき、大変貴重は経験ができました。募金活動にも協力していただき、インストラクターは感謝する一日となった。

(記 宮下修一 10期)

略語の説明

- 日：日付、 場：場所、 参：参加者、
 県：(神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)
 財：((公財)かながわトラストみどり財団)
 スタッフ 例 小田原市森林組合・XX様
 例 川崎市公園緑地協会・XX様
 看：看護師、 イ：インストラクター (○数字：期)



丹沢の自然再生に取り組む

丹沢大山自然再生委員会ホームページは下記URLで
 ごらんください。

<http://www.tanzawasaisei.jp/>



かながわ森林インストラクターの会は
 緑の募金の支援団体としても取組んでいます。
 全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林
ミニガイド

5月のトピックス

種々の花が咲き、とても綺麗でした。



(そろそろ終りのヤマツツジ 5月19日)

6月の水源林

ウツギ、アジサイの花が見頃です。昆虫も鳥たちも盛んに活動しています。川も緩み、川遊びもできます！！

「森の案内人」情報

案内人も張り切ってお待ちしております！！

●実施時間：毎週土曜・日曜・

午前10時・午後1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラストみどり財団 TEL：045-412-2255

携帯：090-8580-5348

FAX：045-412-2300

●ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>

●E-mail:midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35 分。寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

子ども・若者と自然のフォーラム 講演会

「自然と人、人と人をつなぐ」

講師：川嶋 直氏(公益財団法人キープ協会)
「愛・地球博」では森の自然学校・里の自然学校の統括プロデューサーをつとめました。

日時：平成25年6月22日(土)14:00～16:00

主催：神奈川県立青少年センター

場所：上記3F研修室1(横浜市西区紅葉ヶ丘9-1)

◎「桜木町駅」から徒歩約10分 ◎「日ノ出町駅」から徒歩10分 ◎「みなとみらい駅」から徒歩15分

参加費：無料 申し込み：6月18日(火)までに

電話：045-263-4466 または FAX045-242-8190 で

県立青少年センター指導者育成課までお申し込みください。(8:45～17:00 月曜休館)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail：matsutam@jcom.home.ne.jp

Tel：090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉2-1-50

Tel：090-6150-6173

Mail：s.akasaki-k_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸3-46-17

Fax：045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail：matsutam@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀123

Tel/Fax：0465-42-7240

Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町3-7

Tel/Fax：046-825-9281

Mail：2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。



編集後記

アジサイはヨーロッパに渡り、欧州各地で盛んに栽培、品種改良も進められて、ピンク・赤・青などの多くの園芸品種が誕生しています。近年、これらのアジサイが逆輸入され、セイウアジサイとして花屋の店頭を飾っています。アジサイの名は、「藍色が集まった」を意味している「集真藍(あずさい)から転訛したものだ」という説が一般的だそうです。

★庭のラベンダーが咲き始めました。気分だけは富良野、北の国から。(赤崎)

★近所の夏椿が咲きました！沙羅の木が見れると、今日は1日いいことがありそうな気がします♪(大塚)

★今年の春は、いろんな芽吹きに会え、自然の不思議、美しさを満喫しました。もうすぐ梅雨時ですね。体調に気をつけましょう。(水口)

★もう梅雨の季節に入ります、植物や飲み水には欠かせない物ですが心の中の太陽は、曇らないように！(小沢)

★45年ぶりに金時山に登りました。昔はクーラーボックスにビンビール12本+清涼飲料ビンを背負わされ登りました。今は自分の体で目一杯、衰えを切に感じました。すごい馬力だったのですね私は。でもその冬長嶋さんは自主トレで走って来たそうです。さすがMr！！(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。郵便振替口座 00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。(頒価 200円 送料共)

編集人：松本 保

事務局：竹島 明

広報部：小沢章男 水口俊則

真貝 勝 鈴木 朗

鈴木松弘 大塚晴子

徳岡達郎

加藤愛子 赤崎さほり

松田付近のイベント情報



・開成あじさい祭り

6月8日～16日

開成あじさいの里一帯

Tel サービス 0465-84-0311

<http://kaisei-ajisai.com/>

・松田山
春のハーブフェスティバル
6月中旬～6月下旬

Tel サービス 0465-82-0367

<http://www.seibu-la.co.jp/matsudayama-hg/>



山や散策の

お帰りにお越しく下さい。

山麓のオアシス ㊟

～ お食事処 ～

(もちろん冷たいお飲み物も)

こまち

小田急 新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店